

株式会社三喜版CREATE

納品データ取込レイアウト

2012年 8月21日 初版
2012年10月10日 改訂

株式会社サイバーリンクス

變更履歷

[illegible]

ファイルレイアウトの説明

ファイル形式は、固定長（改行区切り）ファイルレイアウトとなります。
データファイルは、ヘッダ・明細の情報で構成されています。
各レコードの最後に改行コード（CR+LF）が入ります。

【形式の説明】

レイアウトの項目にある形式は、大きく分けて5つのパターンがあります。例を交えながらパターンごとに説明します。

1. 文字列（半角）

半角の文字（1文字＝1バイト）を設定します。バイトに示すバイト数に応じて、半角文字を設定して下さい。文字列がバイトに示すバイト数に満たない場合、半角スペースを設定して下さい。

例.

設定したい値	バイト	形式詳細	一括送信ファイル	備考
ABC	10		ABCxxxxxxx	桁が足りない分は半角スペースを付加
ABCDEFGHIJ	10		ABCDEFGHIJ	桁が足りているケース
Null	10		xxxxxxxxxx	当該項目を使用しないケース

※例で表記する「x」は半角スペースを意味します

2. 文字列（全角）

全角の文字（1文字＝2バイト扱い）を設定します。バイトに示すバイト数に応じて、全角文字を設定して下さい。文字列がバイトに示すバイト数に満たない場合、スペース（半角）を設定して下さい。

例.

設定したい値	バイト	形式詳細	一括送信ファイル	備考
でーた	10		でーたxxxx	桁が足りない分に半角スペースを付加
ABCDE	10		ABCDE	桁が足りているケース
Null	10		xxxxxxxxxx	当該項目を使用しないケース

※例で表記する「x」は半角スペースを意味します

3. 文字列（日時）

日時を示す文字列を設定します。形式詳細に記述する形式に応じて設定して下さい。

例.

設定したい値	バイト	形式詳細	一括送信ファイル	備考
2000/9/21	8	YYYYMMDD	20000921	年月日を設定するケース
9/21	4	MMDD	0921	月日を設定するケース

4. 数値（整数）

半角数字を設定します。設定する値の桁数が、バイトに示すバイト数に満たない場合、0を付加します。

例.

設定したい値	バイト	形式詳細	一括送信ファイル	備考
2135	4		2135	桁が足りているケース
135	4		0135	桁が足りないのに、0を付加
0	4		0000	
Null	4		xxxx	当該項目を使用しないケース

※例で表記する「x」は半角スペースを意味します

5. 数値（小数）

半角数字を設定します。整数部と小数部の数値を連結して設定します。設定する値の桁数が、バイトに示すバイト数に満たない場合、0を付加します。

例.

設定したい値	バイト	形式詳細	一括送信ファイル	備考
2135.15	7	4,2	2135.15	桁が足りているケース
135.1	7	4,2	0135.10	桁が足りないのに、0を付加
135	7	4,2	0135.00	桁が足りないのに、0を付加
0.5	7	4,2	0000.50	桁が足りないのに、0を付加
0	7	4,2	0000.00	
Null	7	4,2	xxxxxxx	当該項目を使用しないケース

※形式詳細で表記する「4,2」は整数部分が4桁、小数部分が2桁であることを意味します

※例で表記する「x」は半角スペースを意味します

納品データ取込レイアウト

ヘッダ

開始位置	終了位置	項目名	必須項目		バイト数	形式		備考
			EOS	手 書				
1	2	タグ	○	○	2		固定値 "HD"	"HD"固定
3	14	伝票番号	○	○	12	X (12)	文字列(半角)	
15	22	発注日	○	○	8	9 (8)	文字列(日時)	YYYYMMDD
23	30	出荷日	○	○	8	9 (8)	文字列(日時)	YYYYMMDD
31	31	発注区分		○	1	X (1)	文字列(半角)	0:店舗、1:バイヤー、2:客注
32	32	EOS区分	○	○	1	X (1)	文字列(半角)	1:EOS、2:手書き
33	34	伝票区分		○	2	X (2)	文字列(半角)	10:仕入、11:サンプル
35	35	納品区分	○	○	1	X (1)	文字列(半角)	0:店直、 1:YC中継(谷和原商品センター)、 2:NC中継(新潟配送センター)、 3:QC中継(九州配送センター)、 4:TH中継(東北三喜配送センター)、 9:KC中継(北関東三喜配送センター)
36	37	品番コード		○	2	X (2)	文字列(半角)	CREATE上に登録されている品番マスタを参照し、 品番名称(漢字)を連動します。(手書伝票のみ)
38	67	品番・変換コード			30	X (30)	文字列(半角)	※変換コードが設定されていた場合は、 変換マスタを参照し、変換した上で品番マスタを参照 なお、両方設定されていた場合は、品番コードの値を優先
68	68	発注企業コード		○	1	X (1)	文字列(半角)	CREATE上に登録されている発注企業マスタを参照し、 発注企業名称(カナ)、発注企業名称(漢字)を連動します。 (手書伝票のみ) 1:(株)三喜、 2:(株)北関東三喜
69	71	店舗コード		○	3	X (3)	文字列(半角)	CREATE上に登録されている店舗マスタを参照し、 店舗名(漢字)、店舗名(カナ)を連動します。 (手書伝票のみ)
72	101	店舗・変換コード			30	X (30)	文字列(半角)	※変換コードが設定されていた場合は、 変換マスタを参照し、変換した上で店舗マスタを参照 なお、両方設定されていた場合は、店舗コードの値を優先
102	108	仕入先コード	○	○	7	X (7)	文字列(半角)	
109	122	連絡先	○	○	14	X (14)	文字列(半角)	納品明細書に表示する連絡先(電話番号) ※ハイフンなし
123	162	備考			40	X (40)	文字列(全角)	※全角・半角使用可
		CRLF						
		レコード長(バイト数)			162			

明細

開始位置	終了位置	項目名	必須項目		バイト数	形式		備考
			EOS	手 書				
1	2	タグ	○	○	2		固定値 "DT"	"DT"固定
3	15	商品コード		○	13	X (13)	文字列(半角)	CREATE上に登録されている商品マスタを参照し、 商品名(漢字)、中分類コード、原単価、売単価を連動します。 ただし、諸口コード(ALL"9")が設定されていた場合、 各値にセットされた値を取込みます。(手書伝票のみ)
16	45	商品・変換コード			30	X (30)	文字列(半角)	※変換コードが設定されていた場合は、 変換マスタを参照し、変換した上で商品マスタを参照 なお、両方設定されていた場合は、商品コードの値を優先
46	55	メーカーコード			10	X (10)	文字列(半角)	
56	57	伝票行番号	○	○	2	9 (2)	数値(整数)	最大20行
58	58	中分類コード		△	1	X (1)	文字列(半角)	商品コードに諸口コード(ALL"9")が設定されていた場合、 必須となります。
59	108	商品名(漢字)		△	50	X (50)	文字列(全角)	商品コードに諸口コード(ALL"9")が設定されていた場合、 必須となります。
109	109	欠品理由コード	○		1	X (1)	文字列(半角)	0:欠品なし、1:在庫不足、2:終売商品、3:その他
110	116	納品数	○	○	7	9 (5).9 (1)	数値(小数)	整数5、小数1、小数点付
117	125	原単価		△	9	9 (7).9 (1)	数値(小数)	整数7、小数1、小数点付 手書伝票で値がセットされていない(スペース)場合は、 商品コードをキーとし、原単価を連動します。 値がセットされていた場合は、その値を優先します。 (ALL0はセットされているとみなします。) 商品コードに諸口コード(ALL"9")が設定されていた場合、 必須となります。
126	132	売単価		△	7	9 (7)	数値(整数)	手書伝票で値がセットされていない(スペース)場合は、 商品コードをキーとし、売単価を連動します。 値がセットされていた場合は、その値を優先します。 (ALL0はセットされているとみなします。) 商品コードに諸口コード(ALL"9")が設定されていた場合、 必須となります。
		CRLF						
		レコード長(バイト数)			132			

エラーチェックリスト

ヘッダ

項目名	EOS 必須チェック	手書き 必須チェック	マスタ チェック	日付形式 チェック	その他のチェック項目
タグ	○	○			固定値以外はエラー
伝票番号	○	○	○※1	○※1	数値化をした値が0だった場合はエラーとします。 数値以外の文字列がセットされていた場合はエラーとします。 手書伝票の場合、「(仕入先コード4桁(C/D抜き)+MMDD(日付妥当性チェック)+4桁連番(5001~9999の範囲)」であるかチェックし、範囲外はエラーとします。 ※仕入先コードが「0123456」の場合、「2345」となります。
発注日	○	○		○	YYYYMMDD
出荷日	○	○		○	YYYYMMDD 出荷日が発注日より過去日付の場合、エラー 出荷日がシステム日付より未来30日以内かチェックします。未来30日以内でない場合、エラー
発注区分		○	○※1		
EOS区分	○	○	○		1:EOS、2:手書き
伝票区分		○	○※1		
納品区分	○	○	○※2		
品番コード		○	○※4		
品番・変換コード					
発注企業コード		○	○※1、2		
店舗コード		○	○※2、4		
店舗・変換コード					
仕入先コード	○	○	○※1		
連絡先	○	○			半角数字以外はエラー(ハイフンは設定できません)
備考					

明細

項目名	EOS 必須チェック	手書き 必須チェック	マスタ チェック	日付形式 チェック	その他のチェック項目
タグ	○	○			固定値以外はエラー
商品コード	○	○	○※3、4		
商品・変換コード					
伝票行番号	○	○			明細の行数が20行以上、セットされているとエラーとします。 行番号が連番でない場合、エラーとします。(例:1,2,4,5,6)
中分類コード		○※5			
商品名(漢字)		○※5			
欠品理由コード	○				EOS伝票で該当伝票の発注数と同数の場合は、欠品理由が0であること 発注数より少ない場合は、1・2・3であること それ以外の場合はエラーとします。
納品数	○	○			EOS伝票で該当伝票の発注数より多い場合(増変更)はエラーとします。
原単価		○※5			商品マスタの原単価より大きい場合(増変更)はエラーとします。
売単価		○※5			

※1…手書伝票の場合のみチェックします。

※2…ヘッダの発注企業コードに紐づく、納品区分・店舗コードがマスタに存在するかチェックします。

※3…ヘッダの品番コードに紐づく、商品コードがマスタに存在するかチェックします。

※4…変換コードが設定されている場合は、変換マスタを参照し、通常のコードに変換した上で各マスタを参照します。

なお、通常のコード・変換コードの両方が設定されていた場合は、通常のコードを優先し、変換マスタへの設定を行います。

※5…商品コードに諸口コード(ALL9(999999999999))をセットした場合のみチェックします。